



第5回環日本海域環境研究センター連携部門 国際テーマシンポジウム  
「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」

第五届国际合作研讨会 金沢大学環日本海域環境研究中心  
“城乡可持续发展与生态文明”

日 時：2021年3月12日（金）14時00分～  
場 所：金沢大学自然科学研究科AV教室（オンライン併用）

○シンポジウムの趣旨

今世紀になって急速な工業発展を成し遂げた中国は、急激な経済発展の代償ともいえる深刻な環境汚染問題や社会問題に直面しています。このような中国の経済発展を支えた農村の社会環境や都市社会環境がどのようなものなのかをこのシンポジウムでは検討し、その比較として日本の農村社会の現状を取り上げます。さらに、環境保全型農業の取り組みや絶滅危惧種の保全、農薬問題、世界農業遺産での人材育成プログラムの話題を提供し、東アジアの農村社会・都市社会をとりまく環境とその持続的発展についての議論を深めます。

○プログラム

13:30 開 場

座長：小林信介

14:00-14:05 環日本海域環境研究センター連携部門国際テーマシンポジウム「東アジアの農村社会・都市社会をめぐる環境とその発展」・・・塚脇真二（金沢大学）

14:05-14:20 村落政治におけるヤオ族の女性リーダーについて（瑶族女性村组干部的崛起—以中国广西金秀L村为例—）・・・張 晶晶（華中師範大学）

14:20-14:35 中国農村における内発的発展の可能性に関する一考察—中部三村を例として—（中国农村内生发展的可能性考察—以江西N村为例—）・・・張 文明（華東師範大学）

14:35-14:40 農業農村消滅の危機と再生の可能性：日本の現状を踏まえて・・・市原あかね（金沢大学）

14:40-14:55 持続発展のための世界農業遺産サイトの相互交流（6年間の成果と今後の展望）：能登および佐渡（日本）とイフガオ棚田（フィリピン）・・・中村浩二（石川県立自然史資料館）・エドパリナ R.（金沢大学）・ドゥルヌアン E.（国立イフガオ大学）

14:55-15:10 休 憩

座長：古泉達矢

15:10-15:25 農地の生物多様性をはぐくむ日本の環境保全型農業・・・荒木祐二（埼玉大学）

15:25-15:40 草地生態系における絶滅危惧種の保全—さいたま市田島ヶ原サクラソウ自生地を例に—・・・岡田 遥・辻原穂乃・荒木祐二（埼玉大学）・塚脇真二（金沢大学）

15:40-15:55 石川県の都市部および郊外部における人間社会への農薬の暴露と蓄積・・・本田匡人（金沢大学）

15:55-16:10 大気汚染が性と生殖に関する機能に及ぼす影響・・・任 戦・馬 露（武漢大学）

16:10-16:40 総括討論

16:40 閉 会